

九州アジア観光アイランド総合特区

[指定：平成25年2月、認定：平成25年6月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.3+4)/2=4.2$

4.2

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	アジアを中心とした九州への入国外国人数	166%	5
2	九州における訪日外国人の年間観光消費額	94%	4
3	特区ガイドの稼働者数	92%	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 1 + 4 \times 2 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 3 = 4.3$

4.3

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(4+5+3.8)/3=4.3$

4.3

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

5.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.8

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

・九州全体で特区ガイドを育成する目標は着実に達成されつつある。地域特性に合わせて、英語以外のアジア諸国の言語の通訳ガイドが増えているのも良い。今後は、通訳ガイドのスキルアップやマッチングなどの強化、稼働の向上が期待されるが、それに関わる指標が適切に追加されたことも評価できる。通訳ガイドは、業務独占規制が廃止され、名称独占資格に移行したため、通訳ガイドの差別化をアピールする必要がある。

・入国外国人数について、順調な推移を高く評価する。

・年間消費額については未達成ではあったものの、決済方法の改善や誘客対象の発地国のターゲットの工夫など対応策が具体的で今後の成果に期待する。

・今後は、①相対的に消費単価が多いMICE(Meeting, Incentive tour, Convention, Exhibition)の重視、特に市場として有望な「M・I」市場への対応、②その中で「I」と関連づけた通訳ガイドの活用、③東京圏と連携した、たとえば「Mは東京で、Iは九州で」といった取組みを考えても良いのではないか。

・財政・税制・金融上の活用実績については0件ではあるものの、実務を担う九州観光推進機構が広域連携DMO(観光地域づくりを行う舵取り役となる法人)に登録されるなど予算・組織において自立した運営による発展的実績であると認められる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.2+4.3+4 \times 2) \div 4 = 4.1$

4.1

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。